

事業名	種豚改良		
予算区分	県単 (16,243千円)	担当	改良技術研究室 養豚研究グループ
事業期間	継続 (平成元年度～)	協力関係	-
事業目的	優秀な繁殖用種豚を選定し、パークシャー種の種子豚及び精液を生産・供給する。これにより、「おかやま黒豚」（パークシャー種）の生産を推進するとともに、県内生産者の豚肉の差別化に貢献して、岡山県の養豚振興を図る。		

○ 本年度事業のねらい

事業1 岡山県産豚の生産振興

〈事業の内容〉

種子豚譲渡及び精液譲渡

1 種子豚譲渡

パークシャー種子豚を生産し、繁殖成績、背脂肪厚やロース芯面積の測定等により選抜した優良豚を県内生産者向けに安定的に供給する。

譲渡計画頭数 雄 5頭

雌 65頭 計：70頭

2 精液譲渡（パークシャー種）

原則として毎週2回（月曜と金曜）採精し、モデナ液で希釈して、宅急便で翌日、農場に届ける。

譲渡計画本数 パークシャー種：1,100本

事業2 パークシャー種の改良

〈事業の内容〉

繁殖能力の向上及び産肉能力の向上

1 繁殖能力の向上

場内種豚の総産子数・生存産子数・離乳頭数・離乳時総体重を（一社）日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、優良な後継豚を保留する。

2 産肉能力の向上

種子豚の日齢150日～180日における体重（増体）、背脂肪厚及びロース芯面積等を測定し、（一社）日本養豚協会に報告し、遺伝的能力評価を受け、優良な後継豚を保留する。

○ 前年度までの成果

事業1 令和3年度の岡山県産豚の生産振興

1 種子豚譲渡頭数

パークシャー種：雄 6頭 雌 77頭 計：83頭

2 精液譲渡本数

パークシャー種：1,291本

3 繁殖豚の更新

繁殖豚は、次のとおり20頭更新した。

パークシャー種：雄 8頭 雌 12頭

※12月に静岡県からパークシャー種の雄雌を各1頭導入した。

事業2 パークシャー種の改良

場内母豚の繁殖成績は、一腹当たり平均総産子数9.0頭、生存産子数7.7頭、離乳頭数7.3頭で、哺乳事故率6.5%、死産率15.1%と、死産率が高かった。